

飲食店専用券を新たに加え、プレミアム率50%に引き上げた緊急経済対策商品券発行事業の実施。

持続化緊急支援給付金事業に1千60万円、商品券発行事業に5百66万円の予算計上。

商工会を中心にテイクアウトメニューの充実、仕出し等経営継続支援及び町内の消費底上げを図っていく。

飲食店・宿泊業以外の業種はコロナの影響を受けていないのか。  
 商工会に確認したが、この2業種が3月期の影響が大きく、休業も絡んでおり、経営継続が困難な状況に陥る可能性がある。



**第6回  
まちづくり常任委員会**

6月26日

○地域交通について

▽方針・方向性

幌延町での地域交通体系の整備は、地域集落の支え合いと助け合い機能の提供や維持を目的に実施する「地域コミュニティ形成事業」の一環として、地域交通体系が脆弱な問寒別地区を中心に制度構築を進めていく。

郊外は、今年度採用した地域おこし協力隊員をドライバーとして実証実験を行い、制度のあり方について検討を進めていく。

市街地区は、町内の交通事業者との調整を図り、事業を組み合わせることで町全域をカバーする仕組みを検討していく。

▽今後の検討課題

地域交通サービスの提供が可能な体系の構築に向けて、ドライバーやサービスの調整役と運用に係る必要

人員、既設事業者との調整、利用対象者、利用範囲、利用時間の把握、福祉有償運送への一般町民との混乗と福祉有償運送サービスの混乗と者との連携への検討を進めていく。



地域コミュニティ車両

▽地域交通実証実験方針

(案)

- 各種団体等の活動
- ・各種団体等の総会・例会への参加支援
- ・地域イベントの参加支援



○住民の送迎

- ・町事業等への参加支援
- ・買い物支援(送迎・宅配)
- ・通院支援(患者輸送バスの補完)

▽委員からの意見

実証実験の期間や対象者、実施範囲等について質問・意見があった。  
 ・令和3年度の実証実験の終了を待つのではなく、来年度から市街地も含めて実施すべき。  
 ・現在の進捗状況では遅い。スピード感をもって事業に取り組んでほしい。

今後地域交通の取り組みについて、随時意見交換を行うこととした。

**第3回  
幌延町議会  
臨時議会**

5月22日

▽承認第1号

専決処分の承認(平成31年度一般会計補正予算)

平成31年度各種交付金等の確定による予算額の調整のため、歳入歳出4千5百32万1千円を追加し、50億4千3百48万9千円とした。

▽承認第3号

専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部改正)

課税限度額を引き上げや減免判定所得の算定基準額の改正。  
 医療費分の基礎課税限度額61万円を63万円に、介護分の介護納付金課税限度額16万円を17万円に引き上げる。

軽減判定に用いる算定額は、被保険者の数に乗ずべき金額を5割軽減は28万円を28万5千円に、2割軽減は51万円を52万円にそれぞれ引き上げる。